

# NNTD農業農村整備民間技術情報データベース

Nougyo-Nousonseibi Technical-information Database

技術の名称	SQS工法		
登録番号 (登録年月)	0190 (登録2009年7月／更新2019年2月)	問合せ先	SQS工法協会 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-7-5 (株)サーフェステクノロジー内 TEL 03-6811-0980 FAX 03-6811-0981 <a href="http://www.sqs-me.com">http://www.sqs-me.com</a>
分野	大分類 主 01_土木工事(施設別) 副 1 副 2 副 3	中分類 06_水路工	小分類 01_用水路(開水路)
技術の概要	<p>超速で硬化する2液型ポリウレタン・ポリウレア樹脂材料(SQS材)を、特殊吹付機械システムによりスプレー状に吹付け、塗膜を形成する工法です。シートや成型板工法などと比較して層間水密性が非常に高く、突起物や複雑な形状の部位に対してもシームレスな塗膜を形成することが可能で、防水性能の信頼性に富みます。車上にコンパクトに配置された機械システムから送り出された塗膜材は、60~90mのホース先端に取り付けられた吹付けガンより吐出されます。</p> <p>なお、2020年に(一財)土木研究センターによる「土木系材料技術・技術審査証明(建技審証第0422号)」を内容変更・更新、2016年に(一財)沿岸技術研究センターによる「港湾関連民間技術の確認審査・評価報告書(評価証第15006号)」を受けております。</p>		
開発の趣旨・目的	過酷な条件下でも高い水密性を有し、下地の亀裂に追従し、物性発現が早く、複雑な下地形状にも施工可能で、耐久性に優れ、かつ溶出公害のない安全な表面被覆工法を提供する。		
適用範囲 (適用条件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)降雨・降雪および強風でないこと</li> <li>(2)施工部位の表面が乾燥状態であること</li> <li>(3)気温5℃以上・湿度85%以下であること</li> <li>(4)飛散防止のための養生を行うこと</li> </ul>		
特徴	<p>超速硬化のため、十数秒で指触でき数分で歩行可能。したがって、立上り面・球状面・オーバーハング部などに吹付けてもほとんどダレることもなく、連続した継ぎ目のない塗膜の形成が可能です。</p> <p>また、下地に合ったプライマーにより、強力な接着強度が得られると同時に、塗膜の優れた引張強度・伸びにより、クラックなどへの追従性に富んでいます。既存のコンクリート構造物に吹付けることにより、表面劣化対策・延命効果が期待でき、開水路の場合粗度係数の改善も図れます。</p> <p>さらに、JWWA K-143や厚労省告示第45号(水道法水質基準)に準じた溶出試験に適合したSQS材(ポリウレア樹脂)もあり、環境にやさしい材料となっています。</p> <p>ただし、吹付工法であるため飛散対策が必要となります。</p> 		